

1月11日(土) 交流1日目



対面式の様子
お世話になる農家の方が紹介されました。



大田区の代表児童があいさつしました。



民泊先にて



餅つきに挑戦しました。
杵が重い！



一人ひとり、交代して餅をついていきます。
農家のお母さんが「合いの手」をしてくれました。



つきたてのお餅を冷めないうちに、「あんこ、きなこ、
ごま」にまぶします。
柔らかくて、とっても美味しそう。

1月112日（日） 交流2日目



2日目の午前は、二つのグループに分かれて活動しました。こちら、小学校5年生以下のグループは、横手市大森の子どもたちと「雪遊び交流会」に参加しました。



グループ対抗「人間ばん馬大会」ソリに乗ったお友だちを力を合わせて引っ張ります。



続いて「雪上ドッジボール大会」！こちらも雪国ならではの体験です。



雪の上だと（着込んでいるからかもしれませんが…）ボールがぶつかっても、滑って転んでも全然平気！みんなの笑顔が絶えません。



午後になり、国際教養大学に行っていた6年生以上の子どもたちも雪遊びに合流。

「ソリ遊び」が始まりました
今年の横手は例年にない雪の量で、南部シルバーエリアの駐車場にこんな大きな雪山が出来ました。



写真で見るよりも急な斜面は、かなりのスピードが出るので、迫力満点！



ちょっとひと休み。
雪のかたまりをゴロゴロ回して、大きな雪玉を作る子どもたち。



帽子を頭にのせた雪だるまが完成しました！
ちょっと見にくいですが、アンパンマンのような顔が…。



ただただ、雪と触れ合うことを楽しむ子どもも。
雪の中に体を埋めて、幸せそう。



全員で記念撮影！



夕ご飯の後は、日中に自分たちで作った「ミニかまくら」に灯りをとめます。



幻想的な風景は、子どもたちの心に残ることでしょう。



こちらは大きなかまくらの中にて。
かまくらは、諸説ありますが、水神様を祀（まつ）って、家内安全や五穀豊穰（ごこくほうじょう）を祈ったそうです。



しんと降る雪と、ほのかに光るミニかまくらをバックに記念撮影！

1月13日（月） 交流3日目



雪国の食体験「塩麴（こうじ）づくり」
地域のお母さん方から教わりながら、作っていきます。美味しく出来るように、みんな真剣な表情で作業を進めていきます。



秋田の県南地区では、昔から塩麴が各家庭で作られてきたそうです。冬の間には作られていたので、「寒こうじ」とも呼ばれて、色々な料理に使われてきました。



お別れ式
子どもたちの代表があいさつしました。



農家の方々に感謝の気持ちを伝えます。
「ありがとうございました」

【子どもたちの感想より】

- ・前回行ったツアーのスケジュールと違って、また違う楽しさを感じました。特に教養大では、留学生と英会話やスピーチもできて、とても勉強になりました。今後、今回の交流を授業などで生かせるようにしたいです。久しぶりに友だちに会うことが出来て良かった。またリーダーとして秋田に行けたから良かったです。
- ・東京では出来ない体験をすることが出来て、とても面白かった。次に交流に参加するときは、夏の秋田の暮らしなどを体験したいです。
- ・秋田県へ行き、いろいろなことを学べた。特に印象に残ったことは雪の多さだった。除雪を体験したら、どれだけ大変か良く分かった。
- ・ホームステイ先の家族と秋田の子どもと仲良くなれて良かった。大学では英語で話したことが楽しかった。来年は中学生になり行くことができないけれど、行く機会があれば参加したい。
- ・雪がたくさん降ることで、楽しいこともあったけど、大変なこともありました。今回この交流をして、東京とは違う暮らしができて良かった。
- ・横手焼きそばがとてもおいしかった。雪あそびもめったにできないので楽しかった。
- ・農家の方がとてもやさしくて、話しやすかった。秋田で新しい友だちも出来た。またこのような機会があれば参加したい。

【保護者の感想より】

- ・初めてのホームステイ、雪国の厳しさを考えると不安もありましたが、思っていた以上に楽しめて体験も出来たようです。泊めていただいた家の話を聞くと、初めての食材、初めての味、他にも色々させていただいたそうで、ホームステイ先の温かさが伝わりました。今回の冬の体験ツアーに参加できて良かったと思います。一緒に引率して下さった方々、現地で面倒を見て頂いた方々のおかげで本当に良い体験が出来たと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
- ・秋田へは5回目になりますが、毎回夏も冬も楽しい思い出がいっぱいで、冬の秋田は東京に移住している私たちにとっては、3メートルも積もった冬の雪景色を眼にすることはなかなか出来ないことなので、雪国へ行くということが嬉しく思っておりました。民泊先でしいたけを探ったり、初めて会った子どもたちと雪で遊んだり、とても充実した日々だったようです。秋田の方々には子どもたちに温かく接していただき、心から感謝の気持ちでいっぱいです。核家族化が当たり前のこの世の中で、交流体験があるのは、人間を成長するためには絶対必要だと思うので、いつまでもこのような交流体験を続けてください。
- ・貴重な体験をさせていただき関係者の皆様に感謝しております。帰宅してからは話が尽きることがありませんでした。民泊したお宅では、家族のように接していただき、雪国ならではの雪かき、除雪機の体験も新鮮だったみたいです。ありがとうございました。
- ・3日間とても楽しく過ごせたようです。秋田はビルが少ない、雪の量や東京との気温の違いなど、いろいろな発見があったようです。単に楽しかったというわけではなく、いろいろなことを吸収できた交流だったので、親としても驚き感謝しております。少しですが、我が子の成長を実感出来ました。
- ・今回の体験ツアーは親しい友人が参加せず、一人でも参加したいと希望していたのが驚きでした。一人でも行動できる、周囲と上手くコミュニケーションがとれる、と自分でも分かっていたからだと思います。ホームステイでお世話になった方々にはおいしい料理を作っていただき、本当に感謝しています。初めてお会いした方々のお宅へ泊めていただくことが、子どもにとってはとても勇気のいる行動だと思いました。温かく迎えていただいて、とても喜んでいました。雪の中での生活、家族と離れる数日間、どれをとっても息子にとって素晴らしい経験と思い出になりました。
- ・自宅に戻り、機関銃のようにしゃべる娘を見て本当に楽しかったんだと感じました。

- ・初めての雪国、初めての民泊、子どもにとってすべてが新鮮で印象に残る体験となったようです。特に民泊が楽しかったようで、いただいた食事がとてもおいしかったと喜んでいました。良い経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

【引率者の感想より】

- ・今回の交流体験もすべて素晴らしい企画で、行政の方々、農家の方々にはたくさんのおもてなしをしていただき、本当にありがとうございました。このような交流体験が出来るよう微力ですがお手伝いできるよう、頑張っていきたいと思います。
- ・たくさん経験をさせていただいて、とても楽しませていただきました。スタッフとして参加したのは初めてで不安が多かったが、秋田の皆様のおかげで、事故もなく子どもたちも良い経験になったと思います。私自身も行く前より成長した気がします。ありがとうございました。
- ・秋田県に訪問したのは今回で3回目ですが、3回目にもかかわらず初めて体験することがたくさんありました。国際教養大に行けたことや、民家に泊まり早朝から除雪作業をしたことなど、秋田ならではの体験が出来て、より一層秋田県のことを好きになりました。次も行く機会があれば参加したいです。